

なかがわ

広報

2013. 11



町のイメージキャラクター
「なかちゃん」



No.98

- 那珂川町消防団通常点検 2
- 那珂川町長選挙結果 4
- 町の財政状況を公表します 5
- 氏家税務署・税務課からのお知らせ 6
- 「東山道駅路でつなぐ下野と那須」の案内 8
- 幼稚園・保育園運動会 9



ひばり幼稚園運動会
「デカパン…はずかしい？」

秋季特別展

天下をめぐる男たちの戦い—城と武将—

広報 Koko Gallery
展示室

第98回

城の石垣に足場を組み、生き生きと働く男たち。これは、織田信長の居城、清洲城の石

垣を修理しているところです。

清洲城の石垣が暴風雨で崩れてしまい、ある武将が監督を任されて修復工事に取り掛かったのですが、20日程経過しても一向に完成しませんでした。端から石をひとつひとつ積んでいく工事の様子を見ていた信長の家臣、豊臣秀吉は、「危ない、危ない。こんな調子じゃ、いつになるか分からない」と信長に聞こえるように呟きます。それでは秀吉なら何日で出来るかと信長が聞いたところ、秀吉は、3日でやって見せます、と答えました。そこで秀吉が石垣の工事の監督を任されることとなります。

秀吉はまず、人夫を10組に分け、作業場所を10間(約18メートル)づつ分担させました。このように分担して工事することを「割普請」といいます。これは、それまでだれも考えつかなかったやり方でした。

そして、秀吉は、一番最初に仕上げた組に多大な恩賞金を取らせることを約束しました。そこで、隣組に遅れてなるものかと競争が始まったのです。横を見ると他の組の石垣がどれだけ高くなっているか一目瞭然です。手を抜くことも出来ません。秀吉は工事現場に出向き、一生懸命働く人夫たちにねぎらいの言葉をかけて回りました。こうして、4日目の朝には塀の修復がすっかり終わっていたということです。

図の左手では、工事の進み具合を見に来た織田信長に秀吉が正座して説明している様子が描かれています。完成間近の石垣を見て、信長は感心し、馬上から扇を広げて「あっぱれ!」と言っているようです。



歌川貞秀「太平記之内此下藤吉郎喜世寿城於幾津久廻図」
太田記念美術館蔵

百姓から天下人へと上り詰めた秀吉は、「戦国一の出世頭」といわれますが、知恵を働かせ、最善を尽くす姿勢こそが秀吉を大出世に導いたのだといえるでしょう。展覧会では、この「清洲城割普請」をはじめ、「墨俣の一夜城」、「高松城の水攻め」、「中国大返し」など秀吉の機知に富んだエピソードを浮世絵を通して紹介しています。

馬頭広重美術館 主任学芸員 長井裕子

【会 期】

10月25日(金)～11月24日(日)

【開館時間】

午前9時30分より午後5時まで(但し入館は4時30分まで)

【入館料】 大 人 700円(630円)

高・大学生 400円(360円)

※()は20名以上の団体料金。

※70歳以上の高齢者、中学生以下は無料。

※障がい者手帳等をお持ちの方・付き添い1名は半額

■11月17日(日)は「広重紅葉祭り」です。入館無料ですので、紅葉と芸術を楽しみに広重美術館にお出かけ下さい。



11月は児童虐待防止推進月間
0570-064-000

(児童相談所全国共通ダイヤル)



入選「紅葉眺める」

江川 多嘉さん(宇都宮市)

撮影場所：乾徳寺

平成24年度
那珂川町観光写真コンテスト



小砂焼野焼祭で行われた「野焼踊りコンテスト」の様子です。町内外からたくさんの方が参加し、賑わっていました。

第8回
小砂焼野焼祭

